

## おわりに

折乃笠が部署異動でブログ終了時に、次のような内容の、たいへんうれしいコメントをもらいました。

「お目にかかったことはありませんが、ブログの大ファンでした！ ブログを通して折乃笠部長のお人柄を垣間見ることができたような気がします。新しいお仕事も頑張ってください！」

「毎日楽しく読ませていただいています。ファンの多い部長ブログが終了するなんて寂しいです！ 再開を熱望します」

「今までありがとうございます。折乃笠さんが部長になってから、部の雰囲気随分変わってきたと思います。ブログから学んだことを糧に、これからも明るく仕事をしていきたいと思えます」

「ブログ終了、残念です。折乃笠部長とは仕事での付き合いがなく、お話ししたことすらありませんでしたが、ブログを通して一方的に親交(?)を深めました。テーマがいろいろとあり、毎日楽しみにしていたので、来週からが寂しいですね。またどこかで書いてく

ださいね」

折乃笠ブログでは、自身の知見や知識が広くなり、新しい価値観や希少な経験を得ることができました。合わせて多くの人たちと「心」の交流を持つこともできました。これは私の会社員人生の中で一番の成果であり、勲章でもあります。技術開発に固守し、ほとんど真つすぐ前しか見ず、成果主義で走っていた自分の人生を大きく変えてくれました。

折乃笠ブログの終了後、その成果を生かしてさらにパワーアップし、一生のテーマとして、人間らしく生きる<sup>を</sup>を追求するために、一年に一テーマでエッセイ(ブログ)を書いています。具体的には、富士山一周徒歩の旅、東京23区探索徒歩の旅、神奈川の歴史を訪ねる徒歩の旅、宗教とは何かについての探索の旅、人間らしく生きるにはどうすればよいかの追求、科学的に「心」とは何かの考察などです。作成には、構想、計画、現地現物調査、研究、考察、まとめと膨大な作業となります。

今後、以上の折乃笠ブログやテーマなどで、私の心・体・頭にインプットされたデータをなんらかの手段で世の中にアウトプットしていきたいと思っています。世のため、人のため、今まで苦勞をかけた家族のために、もう一度突っ走ろうと思います。

最後に、本書制作にあたり尽力いただいた文芸社出版企画部の山田さん、編集部の方

さんに感謝致します。

また、「刊行によせて」にて、身にあまるお言葉をいただきました元社長近藤詔治様にお礼申し上げます。お言葉をいただいただけでも今回の出版は十分過ぎる価値があったと思います。

そして、いつも突っ走り過ぎて私をサポートしてくれる家内及び3人の子どもたちに「ありがとう」です。